

第389回:たたき台の6人

中国の習近平政権の2期目目がスタートする今秋の第19回共産党大会(19大)を今秋に控え、最高指導部を巡る人事調整が本格化しているようだ。今朝の読売新聞によると、政権に近い関係者からの情報として、党中央政治局常務委員(チャイナ・セブン)の「たたき台」が作成され、6人が候補となり、最後の1人は残る6人の有力者のなかから選ばれるらしい。ホントかな？

- **候補者: 習近平(64)、李克強(62)、王岐山(69)、韓正(63)、胡春華(54)、孫政才(54)**
- **有力者: 栗戰書(67)、李源潮(67)、趙樂際(60)、汪洋(62)、王滙寧(62)、張春賢(64)**

中国共産党にはいまでも江沢民がつくった「7上8下」内規が残っており、党大会時の年齢が67歳以下であれば最高指導部入りがOK、68歳以上は即引退だ。どうやら19大で習近平氏が、「中核」の特権で、このルールを破りそうな雲行きだが、それでも「7上8下」が今後の人事の目安になることに間違いない。

最高指導部は、原則25名の政治局委員から選出されるので、67歳以下の現政治局委員から孫春蘭(67)統一戦線部長を外し、68歳以上から王岐山を加えると、上記12名となる。

習主席は腹心の蔡奇(62)北京市党書記、応勇(60)上海市長を抜擢するつもりのようなのだが、まさかヒラの黨員を「4段飛び」させるわけには行かず、破格の出世でも政治局委員より上は無理だ。

このリストは夏に避暑地の北戴河で長老も参加して開かれる非公式会議のために用意されたペーパーの可能性もある。以下の◎○▲は当るも八卦の吾が予想、諸賢に一夕の楽しみを供する次第です。

◎習近平(64)総書記 国家主席

党総書記再任は確実、むしろ「党主席」を復活させるのでは？過去に党主席の座に就いたのは毛沢東、華国鋒、胡耀邦のみ。本ポスト復活に成功すれば、「中核」としての彼の威光は更に高まる。因みに慣行で「習主席」と表記するが、これは彼が国家主席(元首)を兼ねているから、習主席と呼ぶもの。

◎李克強(62)首相

嗚呼リコノミックスはいま何処。習一強が定着し、すっかり元気がない李首相。首相を下り全人代委員長に降格との声もあるが、それはないだろう。党内不一致が露呈し、世間体に傷がつく。

○王岐山(69)党中央規検委書記

習さんは「7上8下」ルールを破ってでも腹心の王氏を留任させたい考えだ。習氏の権力の源泉は腐敗追放運動にあり、これを推進したのが王岐山。同氏が実質中国No2であることは誰もが認めるところだが、彼の性格からして破格の厚遇を謝絶する可能性はある。習氏が何としても彼を続投させたいのであれば、三顧の礼として少なくとも序列3位は用意する必要がある。全人代委員長ポストの行方が気になる。古人曰く“情けは人のためならず”もし王氏続投が実現すれば、22年の「習近平三選」も視野に入る。

○韓正(63)上海市党書記

いま上海の街中に習主席を意識した政治スローガンが溢れている。韓正氏が最高指導部入りを目指し

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

勝負に出た。同氏は代表的な江沢民派の人物だが、習氏との関係も良好のようだ。上海では彼の最高指導部入りを予想する声が多い。

◎胡春華(54)広東省党書記 ▲孫政才(54)重慶市党書記

ともに若手指導者の代表的人物。前者は党内保守本流の共産主義青年団(共青团)出身のエリート。後者は農業博士で行政に強く、胡春華は将来の主席、孫政才は将来の首相と云われてきた。孫氏は最近重慶の舵取りで精彩を欠いている印象があるが、若手から胡氏だけを抜擢すれば、ポスト習の流れが固まる懸念があり、対抗馬として胡・孫のセットで最高指導部入りさせる戦略はあり得る。

◎汪洋(62)副首相 ▲李源潮(67)国家副主席

共に共青团の大物。12年党大会では2人の昇格が予想されたが、江沢民派の抵抗で実現しなかった。だから2人とも今秋トップ入りの大本命。しかし李源潮は腐敗追放運動に引っかかり、江蘇省時代の部下の多くが汚職で失脚しており、最高指導部入りは難しいそう。happy retirement でよしとするか？一方汪洋は副首相として外交舞台で八面六臂の大活躍。彼の当選は確実だろう。

○栗戦書(67)党中央弁公庁主任 ▲王滬寧(62)党中央政策研究室主任

彼らが習近平の側近であることは外交の舞台で、いつもご両人が習主席を挟んで左右に着席していることから明らか。栗戦書は主席秘書官(兼護衛官)、王滬寧は外交交渉のシナリオライターだ。引き続き彼らは習主席が最も大切とする部下であることに変わりはないが、側近であるが故に、敢えて最高指導部から外し、自由に動ける政治局委員に留任させるという手もあろう。

▲趙樂際(60)党中央組織部長 ○張春賢(64)党中央指導小組副組長

趙樂際は党の人事を握る「組織部長」。北京大卒、今年60歳になったばかり、要の組織部長と、将来性は十分だが、出る杭が打たれぬよう、極めて地味に活動しており、ナゾの人物だ。張春賢は、昨年“国境の護り”新疆ウイグル自治区のトップから、いまの地味なポストに移り、地方行政官をクビになったとの説もあるが、引退する劉雲山の後釜としてイデオログの最高責任者に就任するとの説もあり、どうもその可能性が高そうだ。

現地の友人たちに訊きたいところだが、盗聴が気になり、本土に電話する勇気はない。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成29年6月27日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

